

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(7/9)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
千年の草原の継承と創造的活用総合特区(阿蘇市等)	正	3.4	3.4 <u>進捗度</u> ・草原面積、野焼き再開牧野数 100% ・あか牛肉料理認定店数 97% ・草原再生募金額 33% 等	3.4 <u>規制の特例等</u> ・第三種旅行者の企画旅行催行区域制限の緩和 <u>財政支援等</u> ・草原案内・見回りマッチングシステム構築支援事業 <u>地域独自の取組</u> ・ASO環境共生基金事業 ・入湯税収観光活用事業 等	3.3	<p>・阿蘇山の噴火レベル引き上げ後の風評被害等もあり、平成26年以降観光客入込・宿泊が落ち込んでいると推測される。地震及び豪雨災害もあり、畜産業や観光業の被害や売上減も考えられる。阿蘇の草原という世界農業遺産・ジオパークを復興のシンボルのひとつとして位置づけ、奮起されることを期待する。東北の経験に学ぶこと等も、方策としてはあるのではないか。</p> <p>・評価指標(3)(あか牛肉料理認定店数)は全く増減がない。減っていないことの評価も可能であるが、増加の目標を立てているので、増加が期待されている。</p> <p>・評価指標(5)(草原再生募金額)については、実績値が目標値の3分の1にとどまっている。加えて、分析内容は一般的にすぎず、もう少し深い分析が必要ではないか。ふるさと納税等と一体化した取組等、多くの国民にアピールし、工夫を凝らして募金を集めることが期待される。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。